

令和6年第1回定例会
一般質問通告者・質問順番

期 日	順位	議席 番号	氏 名
2月13日 (第1日目)	1	4	菊 池 富 也
	2	8	大 森 勝 夫
	3	3	福 田 祥 江
2月14日 (第2日目)	1	2	川 井 正 人
	2	1	飯 村 剛
	3	12	藤 田 稔

一般質問通告内容一覧

令和6年大子町議会第1回定例会

(2月13日、14日 午前10時開議)

※ 一般質問の日程は、13日3名、14日3名の予定です。一人の質問時間については、質問、答弁合わせて60分または30分です。

質問形式は、全員が一問一答方式を選択しています。

質問 順番	質問者氏名	質問事項
1番	議席番号4番 菊池富也	1 令和6年度予算と今後の展望について 2 町の少子化対策及び観光振興策等について
2番	議席番号8番 大森勝夫	1 マウンテンバイク・コース整備によるアウトドア振興について 2 統合後の大子西中学校校舎の活用について
3番	議席番号3番 福田祥江	1 大子版ハローワークの創設について 2 災害への備えについて
4番	議席番号2番 川井正人	1 超高齢社会に向けたまちづくりについて 2 中学校の統合後における通学方法について
5番	議席番号1番 飯村剛	1 観光振興について 2 廃校の利活用について
6番	議席番号12番 藤田稔	1 災害に強いまちづくりについて 2 大子町振興公社への委託について 3 大子町の現状と課題について

質 問 通 告 書

					No. 1
提出年月日	令和 6 年 2 月 5 日	議席番号	4 番	氏名	菊 池 富 也
大子町議会議長 菊 池 靖 一 様					60 分
質 問 方 法	総括方式 ○ 一問一答方式 (一方を選択)				
質 問 事 項	質 問 要 旨 (箇条書き)				
1 令和 6 年度予算と今後の展望について	<p>町は、今定例会に新年度予算を計上しているが、必要性や効果について伺う。令和 6 年度の町の施策は、様々な施設の設計や改修工事が多く、町民の皆さんに直結する施策が少なくなっている。人口の推移や観光の面から伺う。</p> <p>(1) 大子町交流拠点施設に係る管理委託料の詳細について、また、利活用の方法及び内容について伺う。</p> <p>(2) 福寿荘公衆無線 LAN 整備工事の必要性と町が整備する理由について伺う。</p> <p>(3) 大子町中学生海外語学研修現地調査業務の内容と必要性について伺う。</p> <p>(4) 町有施設の今後の改修又は新築計画等について伺う。</p> <p>(5) 中学校の統合に向けた施策について伺う。</p> <p>通学的方法及び自転車通学者への助成について伺う。</p>				
2 町の少子化対策及び観光振興策等について	<p>大子町の令和元年度から現在までの人口の推移と今後更なる人口減少が続いた場合の対応について伺う。</p> <p>(1) 令和元年度から現在までの人口と高齢者の占める割合の推移を伺う。また、少子高齢化についての具体的な対応策を伺う。</p> <p>(2) 新たな工場等の誘致が難しい今の状況で定住者や観光客を増やすための具体的な施策について伺う。</p> <p>(3) 町内の自然を生かした観光客誘致のため、八溝山展望台の周辺整備やサイクリングロードの整備状況を伺う。</p>				

質 問 通 告 書

					No. 2
提出年月日	令和6年2月5日	議席番号	8番	氏名	大森 勝夫
大子町議会議 菊池 靖一 様				時間	30 分
質 問 方 法	一問一答方式 (一方を選択)				
質 問 事 項	質 問 要 旨 (箇 条 書 き)				
1 マウンテンバイク・コース整備によるアウトドア振興について	<p>自転車のオフロードコースは希少性が高く、町で整備計画が進展しており、完成後の知名度向上に期待している。</p> <p>(1) 概要の計画がまとまりつつあるが、実際にコースを運用できるのは、いつ頃を目標としているのか伺う。</p> <p>(2) 計画では簡易な受付事務所があるが、そこでオフロード自転車をレンタルできるようにすれば、未経験者をふくめて集客効果が高くなると考える。そのような想定はあるか伺う。</p> <p>(3) 隣接地に、ジップラインなどのアウトドアパークも構想している。敷地面積から比較的に規模の小さな施設になると想像するが、簡易な無料施設なのか、有料化できる程度の施設なのか、方針を伺う。</p>				
2 統合後の大子西中学校校舎の活用について	<p>大子清流高校の支援に町は力を入れている。その事業に関連し、統合後の空き校舎活用を検討してはどうか。</p> <p>(1) 清流高校の芦野倉農場と大子西中学校は近隣地である。県と町が連携して、高校のサテライト教室として活用する検討をしてはどうか。</p> <p>(2) 清流高校の全国公募者に対応するため、校舎の一部を改修し、清流高校の寮として活用する構想はできないか。また、その宿泊機能を農業体験者や農業研修者の宿泊施設として兼用し、アグリツーリズムにも対応することで、稼働率の高い施設にできないか伺う。</p>				

質 問 通 告 書

					No. 3
提出年月日	令和6年2月5日	議席番号	3番	氏名	福田 祥江
大子町議会議 菊池 靖一 様				時間	30 分
質 問 方 法	一問一答方式 (一方を選択)				
質 問 事 項	質 問 要 旨 (箇 条 書 き)				
1 大子版ハローワークの創設について	<p>大子町にUターンしたいが働く場所がないという理由で、できないと言う人の声を聞くことがある。しかし事業者からは人手不足の声を聞くことも多い。賃金や時間などの条件面の不一致もあるだろうが、双方のニーズが知られていないという側面もあるのではないかと感じる。</p> <p>例えば農繁期などの短期、また長期のパートや正職員も含めて、町内で情報を得られ、マッチングが行えるといいと思うが、町でハローワークのような情報提供の事業に取り組めないかを伺う。</p>				
2 災害への備えについて	<p>本年1月1日に起きた能登半島地震の報道を見ると、あらためて自然災害は避けて通れないものだと感じる。そこで被害を最小限に抑える備えとして「減災」という考えが大切になってくるものと認識している。令和5年第2回定例会でも要配慮者の避難所の体制について質問したところであるが、その後の状況と住宅の耐震化について伺う。</p> <p>(1)前回の質問の際には女性、乳幼児、高齢者に対する準備として生理用品、紙おむつ、使い捨ての哺乳瓶、液体ミルクを確保しているということであったが、その後に確保したものはあるか伺う。</p> <p>(2)大子町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2023というものを策定しているが、補助の内容と利用者数について伺う。</p>				

質 問 通 告 書

					No. 4
提出年月日	令和6年2月5日	議席番号	2番	氏名	川井正人
大子町議会議長 菊池靖一様					30分
質 問 方 法	総括方式 一問一答方式 (一方を選択)				
質 問 事 項	質 問 要 旨 (箇条書き)				
1 超高齢者社会に向けたまちづくりについて	<p> 国立社会保障・人口問題研究所が公表した地域別推計人口で、2050年には大子町の人口が2020年と比較して60.4%減少し、15,700人から6,200人となり、65歳以上の高齢者の割合は63.3%となる新聞報道が町民に衝撃を与えた。そういった状況を鑑みて、国道461号拡幅工事後等も考慮したまちづくりの構想を構築することは町にとって重要な施策であると考えます。26年後に備え、超高齢者社会に向け、中心市街地等に高齢者集合住宅の建設等、まちづくりへの取組を進める必要があると思われる。そこで次の質問を行う。 </p> <p> (1) 町は超高齢者社会を見据えどんな構想を描いているのか伺う。 </p> <p> (2) 高齢者ほど交通の便が良く、医療機関が近くにあるなど便利なところに住むことが必要になってくる。また、高齢者を優先した集合施設ができる事で、福祉サービスの充実や効率化が図られる。大子町は広域なので、JR水郡線の各駅を中心とした居住区を設置するなどして、高齢者集合住宅等の建設などを進める事が重要だと思われるが町の考えを伺う </p> <p> (3) 自動運転の技術が向上した場合、免許を返納した高齢者等が交通弱者になることが避けられると思われる。町として将来の自動運転社会に備えて、一定の要件を満たした高齢者が複数で自動運転車両をシェアする目的で購入する場合等その補助に向けた基金等を設置する考えがあるか伺う。 </p>				
2 中学校の統合後における通学方法について	バスやAIタクシーに限らずJRを利用した方法を検討できないか。				

質 問 通 告 書

					No. 5
提出年月日	令和6年2月5日	議席番号	1番	氏名	飯村 剛
大子町議会議 菊池 靖一 様				時間	30分
質 問 方 法	一問一答方式 (一方を選択)				
質 問 事 項	質 問 要 旨 (箇条書き)				
1 観光振興について	<p>(1)町は「全方位アウトドア。自然基地大子町」のキャッチコピーを掲げて、イベントを開催し誘客を行っている。これまでの成果、今後の展開について伺う。</p> <p>①JR企画茨城デスティネーションキャンペーンによる成果と町への影響について伺う。</p> <p>②サイクリング、ロングトレイルの企画はどのようなことを行ってきたのか。環境整備を含めた今後の推進について伺う。</p> <p>(2)更なる袋田の滝の観光振興について伺う。</p> <p>①大子来人の観光客の反応について伺う。</p> <p>②今後の企画の予定について伺う。また、更に推進していくため、プロジェクションマッピングを採用し、新たなる光の演出に挑戦してみてはいかがか。</p> <p>③滝周辺の環境整備について伺う。</p>				
2 廃校の利活用について	<p>令和7年度の中学校統合により廃校になる校舎の利活用について伺う。</p> <p>(1)大子町には、日本一の米や果樹、お茶などたくさんの特産物がある。空き校舎を中心とした「体験型の農業テーマパーク」の環境整備を行い、移住者促進に繋げてみてはいかがか。</p> <p>(2)ペットツーリズムの進展により、ペット同伴の観光客が増えている。廃校の利活用として「ドッグラン」の施設整備をしてはいかがか。</p>				

質 問 通 告 書

					No. 6
提出年月日	令和6年2月5日	議席番号	12番	氏名	藤田 稔
大子町議会議 菊池 靖一 様				時間	● 60分 ○ 30分
質 問 方 法		○ 総括方式 ● 一問一答方式 (一方を選択)			
質 問 事 項		質 問 要 旨 (簡 条 書 き)			
1 災害に強いまちづくりについて		<p>(1) 大子町では、災害発生時等に備えた飲食料の備蓄が、十分対応できる状況にあるのか伺う。また、基幹避難所等における主な防災備蓄品などの状況を伺う。</p> <p>(2) 令和元年東日本台風を踏まえ「久慈川緊急治水対策プロジェクト」による河川改修整備が進められている。撤去された松沼橋側における水門及び消防水利の再整備について、町としての考えを伺う。</p> <p>(3) 令和3年3月における「大子町個別施設計画」では、現消防庁舎の現状と課題として、「建築から40年以上が経過しており旧耐震基準で建築された建物で施設・設備の老朽化が著しく、かつ浸水想定区域に位置していることから防災拠点としての役割を果たせない恐れがある」としている。代替地を含めた今後の方針を伺う。</p>			
2 大子町振興公社への委託について		<p>(1) 大子町が大子町振興公社に委託している施設の委託料及び事業実績について施設ごとに伺う。また、今後新たに委託する施設等はあるのか伺う。</p> <p>(2) 近年、振興公社への委託が増えており、町の負担増加が懸念される。これまでに物価高騰や燃料高騰などの支援もしている状況である。全般的な負担を軽減する観点から、民間委託などの検討を含めた今後の方針を伺う。</p>			
3 大子町の現状と課題について		<p>町長は所信表明において、「日本は今、時代の転換点に差し掛かっている。大子町が予測不能なこの困難な時代を生きていくためには、残すものはしっかり守って維持しながら、新しいことに果敢に挑戦し、何より自ら切り開いていく覚悟を持ち続けることが重要である」と言っている。他市町村と比較して、人口減少と高齢化率が著しく進んでいる中で、少子化や高齢化対策など、町の将来を見据え、今後どの様に町政へ反映していくのか考えを伺う。</p>			